



青少年センターだより

令和2(2020)年10月号



那須塩原市青少年センター

那須塩原市あたご町2-3

Tel 0287-37-5925 Fax 0287-37-5479

✉ seishounen@city.nasushiobara.lg.jp

- ネット時代の歩き方講習会 -

◇親子学び合い事業「ネット時代の歩き方講習会」が9月4日(金)、埼玉小学校において6年生とその保護者を対象に開催されました!

(講師) とちぎネット利用アドバイザー 大畠 明人氏

1. 「慣れ」の怖さを知ろう! (慣れとは意識せずにできる状態)

包丁とスマホ、どちらが怖い? -例えば危険な包丁も使い慣れると無意識に体が反応します。スマホの使用も慣れが存在し、毎日 SNS をチェックしたり、着信にすぐ反応する人はそれが当たり前になってしまい、包丁のように扱いを間違えるとケガをする道具と違い、たとえ間違いであっても気が付かず慣れてしまいます。大切なのはスマホに操られることなく、慣れはこわいけど上手に慣れることです。

2. スマホを使い成長する人になるには

スマホの4つの問題 -スマホは不安を安心に代える道具ですが、スマホの使い方を間違えると、①時間を忘れ夜中まで使用する。②便利な道具として頼り過ぎ、思考能力が低下する。③SNS やゲームにのめり込む。④犯罪者など怖い人とつながる。と、4つの問題点を提起し、スマホの危険性を訴えました。スマホを使い成長するためには、何のためにスマホを使うのか目的意識を持って使うことが大切です。



ネットやスマホの話に児童は興味深々!



講師に謝礼の言葉を述べる代表児童

◇ 第43回栃木県少年の主張発表那須地区大会 (那須塩原市・大田原市・那須町)

【作文審査の結果発表】 **御入賞、おめでとうございます!**

今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から作文審査による大会となりました。

那須塩原市からは以下の10名が入賞されました。

| | | | |
|-------|-------------|------------|---------------|
| 【優秀賞】 | 齋藤 風花さん | 日新中学校 3年 | 私からつなぐ「幸せ」の輪 |
| | 佐藤 元紀さん | 三島中学校 3年 | 自信をもって |
| 【優良賞】 | マグシノ ミラデルさん | 黒磯中学校 3年 | ことだま |
| | 田崎 真紘さん | 黒磯北中学校 3年 | 読書がもたらす未来 |
| | 菊地 美音さん | 厚崎中学校 3年 | 私が母の耳になる |
| | 石川 美藍さん | 東那須野中学校 3年 | 「一生懸命の力」 |
| | 八木沢 貫太さん | 高林中学校 3年 | 地域の一員として |
| | 清水 咲良さん | 西那須野中学校 3年 | どもっていても大丈夫 |
| | 江連 未桜さん | 箒根中学校 3年 | みんなが幸せになるために |
| | 青木 陽奈さん | 塩原小中学校 3年 | 塩原の未来を担う一員として |



◇不登校は年々減少しているが、ひきこもりに関する相談は増加傾向です！

○ひきこもりとは

- ・義務教育を含む就学、就労、家庭以外での交流などができず、概ね6ヶ月以上家庭に留まり続けている状態。

○新規相談件数（ポラリス☆とちぎ調べ）

- ・年度別の新規相談件数は
 - ① ひきこもり R.1:93人（H.30:76人/ H.29:70人）増加。
 - ② 不登校 R.1:77人（H.30:94人/ H.29:108人）減少。
- ・不登校は年々減少しているが、ひきこもりは逆に増加傾向。

○ひきこもりに至った経緯

- ・特に10～20歳代は「不登校」からのひきこもりが多い。
- ・ひきこもりになるきっかけは親子関係や学校、職場での人間関係のトラブルが多い。

○ひきこもりの支援対策として

- ・ひきこもり総合相談センター（ポラリス☆とちぎ）への相談。
- ・ひきこもりサポーターによる訪問支援。

相談件数（「ポラリス☆とちぎ」集計結果）

子ども若者・ひきこもり相互相談センター

| | | |
|----------------|------------|------------|
| ・宇都宮市 | 2,264件 | 1位(25市町中) |
| ・高根沢町 | 932件 | 2位 |
| ・栃木市 | 233件 | 3位 |
| ・ 那須塩原市 | 70件 | 12位 |
| ・大田原市 | 70件 | 12位 |

ひきこもり専用（電話相談窓口）

ポラリス☆とちぎ（宇都宮市）

☎ 028-643-3422

【開所日】火曜日から土曜日

10:00～19:00

【定休日】日曜、月曜、祝日、年末年始

◇11月は「子供・若者育成支援強調月間」～ 支えよう 輝く人の 夢みらい ～

○内閣府では、11月を「子供・若者育成支援強調月間」とし、栃木県青少年育成県民会議では、青少年育成運動の県民への一層の広がりを目指し、各青少年育成市町村民会議と連携して広報活動を実施します。

期間中の広報啓発街頭キャンペーンとして、本市では、相談員が巡回指導時にポケットティッシュを配布します。

◇青少年センターからのお知らせ

○巡回指導が9月から再始動しました！

7月から開始した少年指導員による巡回指導について、7月下旬に市内で確認された新型コロナウイルスの影響で、8月中は感染拡大防止対策として巡回を一時中断しましたが、9月より再始動しました。

○青少年を取り巻く「環境の浄化」にむけて -令和2年度上期(4～9月)巡回指導状況-

本年度は、年度当初から新型コロナウイルスの感染が広がり、6月からの巡回指導を見合わせ、7月からのスタートとなりました。少年指導員113名で27班を編成し、実施計画書に合わせて夕刻から市内を巡回しながら青少年が事件や事故に巻き込まれることのないよう注意深く安全確認を行っています。6月と8月はコロナ禍での巡回指導を避けるため一時中断しました。そのような状況下で上期は77回、250人（延べ人数）、583箇所（延べ数）の巡回を実施し、公園やトイレ内の安全、人目につかない路地裏や建物周辺などを確認し、時には青少年に愛の声かけを行い、温かく見守る活動を進めています。

ここ数か月間、不審者情報が多い中、主に確認された問題点として、書店やゲームセンター、大型商業施設内で、家族（保護者）と離れて子どもだけにいるとの報告を受けています。不審者はその一瞬について子どもに近寄りず。

子どもの安全確保の観点から、家族（保護者）は必ず同伴をお願いします。



○困った！ 一人で悩まず、まずは相談してみませんか！

【那須塩原市青少年センター】 ☎ 37-5925 10:00～12:00（水曜日、土曜日、日曜日、祝日を除く）

◎子ども・若者の相談に限らず、学校や家のこと、友達のことなど、一人で悩まず相談してみませんか！